

## 甘味資源作物安定生産体制緊急確立事業

【2, 215百万円】

### 対策のポイント

さとうきびの増産をはじめとする甘味資源作物の生産安定化や生産性向上に向け、農業機械等のリース導入や不作からの回復基調を今後の着実な増産につなげていくための土づくり、防除等の取組を支援します。

### <背景／課題>

- ・さとうきび、てん菜等の甘味資源作物は、沖縄県、鹿児島県南西諸島、北海道畑作等における基幹作物であり、製糖工場等とともに地域経済を支える存在であることから、生産の省力化・効率化を進めるため、農業機械等のリース導入を支援して生産性を向上させ、地域経済の活性化を図ることが必要です。
- ・特に、さとうきびについては、不作からの回復基調を今後の着実な増産につなげていくため、土づくり、防除等の取組を支援することが必要です。

### 政策目標

- 沖縄県及び鹿児島県南西諸島のさとうきび生産を平年並の水準以上に増加（119万トン（25年産）→140万トン以上（27年産））
- 甘味資源作物生産に係る労働時間を10%以上削減

### <主な内容>

#### 1. 甘味資源作物機械等リース導入支援事業

さとうきび、てん菜、ばれいしょ及びかんしょの省力化や作業の共同化、労働力の外部化（コントラクター育成）等を進めるために必要となる農業機械等のリース導入を支援します。

補助率：物件相当額の1/2以内、  
リース料の6/10以内  
事業実施主体：生産者組織等

#### 2. さとうきび生産安定化等支援事業

さとうきびについて、不作からの回復基調を今後の着実な増産につなげていくため、土づくり、株出管理、防除等の取組を支援します。

補助率：定額、6/10以内、1/2以内  
事業実施主体：生産者組織等

[お問い合わせ先：生産局地域作物課（03-3501-3814）]

# 甘味資源作物安定生産体制緊急確立事業

【平成26年度補正予算：2,215百万円】

- 台風常襲地帯の沖縄県、鹿児島県等や畑作輪作を展開する北海道の基幹作物である甘味資源作物について、農業機械等のリース導入を支援して生産性を向上させ、地域経済の活性化を図ることが必要。
- 特に、さとうきびについては、近年の不作からの回復基調を今後の着実な増産につなげていくため、土づくり、防除等の取組を支援する必要。

## 現状

### 1. 甘味資源作物の生産性

#### (1) さとうきび

零細規模の農家が多く、高齢化も進展  
**機械化一貫体系の確立が必要**

#### (2) てん菜、ばれいしょ、かんしょ

重量作物であるため、長い労働時間が必要  
**労働力不足が深刻化**

#### 投下労働時間

さとうきび 60h/10a  
 てん菜 15h/10a  
 ばれいしょ 9h/10a  
 かんしょ 59h/10a

〔小麦 3h/10a  
 大豆 9h/10a( )〕

参考：北海道畑輪作物

#### ハーベスタ収穫率

	平成7年	平成15年	平成25年
鹿児島	16.5%	53.9%	85.7%
沖縄	22.3%	37.0%	55.8%

### 2. 大型台風被害

台風被害の大きかった地域では、さとうきびの乱倒伏等による次年産の萌芽や初期生育への影響が懸念



台風被害状況

### 1. 農業機械等のリース導入

・さとうきび、てん菜、ばれいしょ及びかんしょの生産において省力化や作業の共同化、労働力の外部化(コントラクター育成)を進めるために必要となる農業機械等のリース導入を支援。

### 2. さとうきび生産安定化等対策

・さとうきびについて、不作からの回復基調を今後の着実な増産につなげていくため、土づくり、株出管理、防除等の取組を支援。



収穫(さとうきび)



植付け(てん菜)



植付け(種ばれいしょ)



植付け(かんしょ)



たい肥の投入

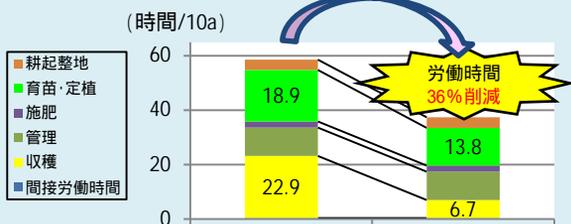


フェロモンチューブによる交信かく乱

## (平成26年度補正予算) 対策

【さとうきび、てん菜・ばれいしょ・かんしょ】  
 ・省力化や作業の共同化、労働力の外部化により、労働時間が減少。

**労働力の確保、生産コストの低減が実現。**



かんしょにおけるイメージ

【さとうきび】

・ハーベスタ等の導入による生産性向上や台風被害対策に取り組む

**生産量を平年水準以上に回復。地域経済も活性化。**



## 効果